

こども若者★いけんぷらす いけんひろば

病気の治療のためにブタから心臓や腎臓をもらう
異種移植、みんなはどう思う？

フィードバック資料

2024年10月25日（金）～11月10日（日）アンケート開催

2024年度「こども若者★いけんぷらす」事業

1. 開催概要（アンケート）

2. 意見の活用について

- ①厚生科学審議会 異種移植に関する専門委員会への意見の活用について
- ②メディアにおける意見の活用について

3. 厚生労働省（テーマ担当省庁）より

1. 開催概要（アンケート）

テーマ	病気の治療のためにブタから心臓や腎臓をもらう異種移植、みんなはどう思う？
担当省庁	厚生労働省
テーマ説明	<p>2022年にアメリカで初めて遺伝子改変を行ったブタの心臓を心臓病の患者さんに移植する「異種移植」が行われました。今後、日本でも臓器移植が必要な患者さんのための新しい治療の選択肢として、異種移植が実施される可能性が高まっています。</p> <p>日本で異種移植を実施するには、専門家が集まる国の委員会等で事前に評価を受けることになります。その際に「人の病気の治療のために動物の臓器を使用して良いか」という生命倫理的な課題についてもしっかりと議論をする必要があります。</p> <p>そのため、異種移植に対するこども・若者のみなさんの意見も国の委員会等での議論の参考にしたいと考えています。みなさんの率直な意見を教えてください。</p>
参加対象者	「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、中学生以上の方
開催方法	WEBアンケート
開催日時	令和6年10月25日（金）～11月10日（日）
回答数	113件





今回のいけんひろばでいただいた意見は、

**「厚生科学審議会 第1回 異種移植に関する専門委員会」での会議資料
に活用いたしました。**



「厚生科学審議会 異種移植に関する専門委員会」について

動物の細胞や臓器を用いた移植医療（＝異種移植）を実施するには、その実施計画を国の審議会（再生医療等評価部会）等で確認することが、法律（再生医療等安全性確保法）で決められています。

しかし、異種移植を実施してよいか判断するためには、

- ・新しい感染症が広がるリスク
- ・移植に用いる動物の細胞・臓器の質の評価
- ・移植の手術の技術
- ・倫理的な観点

など、“異種移植に特有の論点”についての議論が必要

この“異種移植に特有の論点”についての議論を目的として、異種移植に関わる専門家を集めた「異種移植に関する専門委員会」を令和7年1月30日に設置・第1回委員会を開催しました。

今後、この委員会は、異種移植に関わる実施計画が国まで提出されたときなどに、開催される予定です。

今回のいけんひろばでいただいた意見や専門委員会での議論を参考にして、研究者が研究立案時の参考にすることや、また専門委員会等での倫理的な観点での実施計画の確認がなされることが想定されます。

※参考：厚生科学審議会 第1回 異種移植に関する専門委員会に関する情報は、下記の厚生労働省のHPに公開しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50292.html



いけんひろばでいただいた意見は、

「厚生科学審議会 第1回 異種移植に関する専門委員会」にて、事務局（厚生労働省）から委員・参考人（出席者）に対して報告され、この資料をもとに異種移植に関わる倫理的な観点での議論がなされました。

厚生科学審議会 第1回 異種移植に関する専門委員会において、意見を報告した資料

子ども家庭庁・厚生労働省
2024年度「子ども若者★いけんひろば」事業
異種移植に関するアンケート調査結果について

厚生労働省 子ども家庭庁

子ども若者★いけんひろば
いけんひろば

病気の治療のためにブタから心臓や腎臓をもらう
異種移植、みんなはどう思う？

2024年10月25日（金）
2024年度「こ

3. 異種移植に関する意見について

厚生労働省 子ども家庭庁

臓器移植を必要とする患者さんの数に対し、人から提供される臓器の数が足りない状況が続いているため、臓器不足の解消策の一つとして「異種移植」が検討されています。「異種移植」について、どのように思いますか。（複数回答）

- どの世代においても約7割の人が、「とても良い方法だと思う／どちらかと言えば良い方法だと思う」と回答しました。

世代	とても良い方法だと思う	どちらかと言えば、良い方法だと思う	どちらかと言えば、良い方法と思わない	全く良い方法と思わない
全体 (n=113)	22.1% (25件)	51.3% (58件)	23.9% (27件)	2.7% (3件)
12～15歳 (n=33)	24.2% (8件)	45.5% (15件)	27.3% (9件)	3.0% (1件)
16～18歳 (n=31)	25.8% (8件)	54.8% (17件)	16.1% (5件)	3.2% (1件)
19～22歳 (n=18)	11.1% (2件)	55.6% (10件)	33.3% (6件)	0.0% (0件)
23歳～30歳 (n=31)	22.6% (7件)	51.6% (16件)	22.6% (7件)	3.2% (1件)

3. 異種移植に関する意見について

厚生労働省 子ども家庭庁

前の質問について、そう思った理由を教えてください。

「とても良い方法だと思う」「どちらかと言えば、良い方法だと思う」と回答した人の意見

- たとえ動物の臓器であろうと、移植したことで今より多くの患者さんが元気に生きる未来があるのであればとても良い方法だと思います。
- 異種移植であっても、何も手立てがなく動かないかもしれないという状況だったら一つの治療法として希望になると思うから。
- 臓器の不足を補うことができ、尚且手術などにかかる費用が抑えられるから。
- 例えば、現在心臓移植を受けるのは日本国内では難しく、アメリカでの手術が多いと聞いたことがあります。そのため、異種移植によって多くの人の命が助かるのであればぜひ考えてみたいです。
- 患者が同意をして、健康上問題がなければいいと思う。
- 1人でも多くの命が救えるから。しかし、提供される臓器は提供する側の動物が寿命で亡くなってから摘出したものであって欲しい。
- 最善解の一つであれば必要な方法だと思う。生命倫理の問題は考えられるが、人間が臓器を食べて自身の血内に変えるのと大差は見られないと思う。
- 自分自身、心臓に疾患があり、産まれてすぐ牛の皮の移植をする手術をしていると聞いた。今、元気なのはその時の手術のおかげ。当事者なので、感謝しかない。

「どちらかと言えば、良い方法と思わない」「全く良い方法と思わない」と回答した人の意見

- 自分の中にト以外の臓器が入っているのは嫌な感じがするから。
- 移植がうまくいったとしても、そのあと何年後にどんな不具合が出てくるか予想できないと思うから。
- 死亡例のニュースしか聞いたことがないことやウイルスの感染のリスクを聞いたことがあるから。
- 異種移植についての一般レベルの説明が充実しているとは思えず、患者が異種移植をほんとうに望んでいるかの意思確認が難しいため。
- 臓器を提供する側の動物には、「提供しよう」という意志があるわけではなく、倫理的に疑問を抱いたため。
- 生きている人間を殺してまで臓器提供していない（脳死以外）にも関わらず生きている動物を殺して臓器移植をすることに対して命の重みは同じはずなのに命の重さの違いを感じてしまうから。

「良い方法だと思う」と回答した人の意見の中で挙げられていた条件

- 人の臓器ではまかなえない状況にあ
- 移植のためだけに動物の命を奪わないこと
- 動物が亡くなってから臓器を抽出すること
- 安全であること/健康に影響が出ないこと
- 動物に、必要以上の苦痛を与えないこと
- 患者が同意していること
- 移植に使う臓器以外の部位も無駄なく活用すること
- 社会的な差別を受けにくいこと
- 他の臓器移植を受けられるようになるまでのつなぎとして活用すること
- 移植した動物の命を奪わないこと
- 動物が亡くなってから臓器を抽出すること
- 安全であること/健康に影響が出ないこと
- 動物に、必要以上の苦痛を与えないこと
- 患者が同意していること
- 移植に使う臓器以外の部位も無駄なく活用すること
- 社会的な差別を受けにくいこと
- 他の臓器移植を受けられるようになるまでのつなぎとして活用すること



いけんひろばでいただいた意見は、専門委員会での議論に活用いたしました。

異種移植に関する専門委員会での委員・参考人からの意見概要

意見への感想・分析

- ここまで若い人たちがしっかりと考えてくれているというのは、これからの日本も期待できると感じたところです。(異種移植が)より身近になってきたときに、社会としてどうやって認めていくのか、実際、そういう患者さんと接するときはどうしていくのかというが見えてくるのかなというところで、非常にすばらしいアンケートをありがとうございました。
- 世論調査によると、移植についての意思表示を何かしらしている人は10%程度であるところ、今回の調査では23~30歳の回答者の50%以上が意思表示をしているということでした。再生医療への関心も高い回答者が多かったです。異種移植について、言葉も内容も知っていたという人が51.3%を占めていたことから、移植や再生医療に対するリテラシーの高い若者からの意見であることが本調査結果の特徴だと思えます。こういったリテラシーの高い人の回答というのも、大変意義があるので、とても重要な結果だと思えます。
- 異種移植を「とても良い」、「どちらかといえば良い」方法だと思うという人が73%いた一方で、自分が受けた治療法の順位では異種移植は最下位になっていたというところは興味深いです。また、「とても良い」、「どちらかといえば良い」というように回答をされている方であっても、一定の留保があるということは我々も留意しなければならぬと思えます。
- 「留保」の中で、動物の配慮を挙げている人が複数いました。これは命の教育としての、動物愛護教育の表れとも言えるのではないかと思います。子供や若者の動物の命に対する思いや気持ちは大切にしながら、この医療を進めていくことが重要かと思えます。
- 昨今、臨床研究への患者・市民参画の重要性が唱えられていますが、「こども若者★いけんぽらす」における今回の取組もその一つとして大変重要なものだと思います。



意見を受けての今後への要望

- こういうアンケートが、意識の強い子供がこういう意識を持っておられるのだということも、ものすごく良いことだと思いますし、そういう子供が増えてくださるというのは非常に大事なことだと思います。
- (研究) 開発を進めるためには、やはり、一般に、異種移植を含めて、どういうリスクがあるか、また、どういうリスクがあっても、こういう患者さんを救うための技術としてこういうものがあるという、そういう議論が非常に必要なのだろうなというように思っています。その議論の上で、こういう技術を実証したり実装してきたときのリスクも社会的な許容を得る努力が必要なのかと思います。
- こういったアンケートはとても重要で、かつ、ここから学ぶべきことなどたくさんあるかなと思います。その中で、リスクとベネフィットという話は、いつも議論になるところだとは思いますが、すけれども、アンケートで、これが良いという方が7割というところはあるのですが、これは、実は良いという考えが多いからいいというものではなくて、多分、一番耳を傾けるべきは、全く良い方法だと思わないと言われている方、こういった方が、どうして思わないのか、そして、こういった人たちの意見というのがかなり強くなるということになると思えますので、この部分をしっかりと吸収して議論していく、話していくというのが一番大切なかなと思いました。
- こういった治療を進めていく中で、御意見を聞きたいのは、患者さんや御家族など、こういった新しい治療に対してどう思われているのか。特に、患者団体の方などの御意見などをお聞きしたいな(思います)。こういった患者団体の方々が、こういった事業をやってほしいということであれば、(治療を行う側の)モチベーションも上がりますし、そういったアンケートの対象をちょっと変えていただいて、こういった技術がどこまで必要かということ、知りたいなと思えます。
- どういうリスクがあると思うのか、といったことも聞いてみることも必要なのではないかと思います。こういう次世代の子供たちや若者たちに聞いていくということを、1回きりではなくて、ある程度定期的に、いろいろな形でやっていていただいて、どこかで集約をして、いろいろな方に見ていただいて、今後の在り方を判断する資料として使っていただくといったような、世論調査やアンケート調査の集約やアーカイブ化みたいなものもやっていく必要もあるのかなと思いました。



いけんひろばでいただいた意見は、多くのメディアでも取り上げられました。

いただいた意見を踏まえた報道

○朝日新聞：ブタ臓器を患者に「異種移植」どう思う？ 12～30歳が挙げた条件

<https://www.asahi.com/articles/AST23028ZT23UTFL00KM.html#expertsComments>

○読売新聞オンライン：「異種移植」若年層の7割は好意的…厚労省アンケート

<https://www.yomiuri.co.jp/science/20250216-OYT8T50025/>

○共同通信：「異種移植」若者7割が好意的 動物の臓器を人に、厚労省が調査

<https://www.47news.jp/12100400.html>

○日テレNEWS：動物の臓器を人に…「異種移植」の安全性など検討する委員会設置

<https://news.ntv.co.jp/category/society/b1e687332194400d9942e548ababcb2c>

など



こども・若者のみなさんから聴いたご意見は、
第1回の異種移植に関する専門委員会で公開され、
異種移植に関する生命倫理等の議論のために活用されました。
多くの意見をいただき、ありがとうございました。

